

たばこ対策に関する市町取組状況について

1 たばこに関する知識普及啓発

- 【内容】喫煙が及ぼす健康影響や禁煙支援に関するものが多い
- 【対象】健康診断受診者や妊婦等
- 【資材】紙媒体（チラシ・リーフレット・等）が多いが、ホームページやSNSで発信している市町もある
- 母子健康手帳発行時や特定健診、がん検診の機会に喫煙者にアプローチしている市町が多い

2 講演会・イベント・健康教室等の実施

- 防煙／喫煙防止教育、出前講座
たばこ単体や飲酒・薬物・がんと合わせた実施。学校や事業所など
- がん検診啓発イベント時における啓発
喫煙が及ぼす健康影響についてなど
- 禁煙（卒煙）相談
- 特定保健指導における禁煙指導
- 健康推進員による啓発
- COPDに関する講演会

たばこ対策に関する市町における課題・展望

喫煙対策

- 妊婦や20歳未満の喫煙がなくなる
- 学校教育と連携して未成年期からの知識の醸成を行う
- 喫煙の意志が固い方は禁煙や本数の減少につなげにくい
- 個別禁煙健康相談の件数が少ない
- 喫煙率が下がらない
- 成人分野に対する啓発を展開したい
- 高血圧、がんなど他の取組と連動させながら啓発活動を行いたい
- 新型タバコの健康被害等について間違った認識をしている人もいるため、正しい情報を提供する必要がある

受動喫煙対策

- 妊婦の同居家族喫煙率が高い
- 職場における受動喫煙
- 健康増進法の規定外である道路等での喫煙についての苦情対応
- 駅前に喫煙所を整備したが路上での受動喫煙がなくなる

周知内容・手法など全般

- 加熱式たばこや禁煙治療に関する最新情報を踏まえた啓発が不十分
- 禁煙希望者（検討者）への情報提供が不十分
- 踏み込んだ対策をしたいが、人員・予算や予算が限られている
- 関係団体との連携が進んでいない
- 啓発品や健康イベントを利用して啓発を強化したい
- 小中学校での知識の普及に加え、乳幼児期などのより若い世代にもアプローチをしていく

たばこ対策に関する 市町から県・関係機関へ期待すること

喫煙が及ぼす健康影響 についての知識普及

- 効果的な取組事例の収集・共有、環境整備における具体的なノウハウの提供
- 加熱式たばこなど、新型たばこに関する情報提供

20歳未満の者の 喫煙防止（防煙）対策

- 小中学校の喫煙防止教室で利用できる資料の提供
- 若年層向けの啓発資材の作成

受動喫煙防止対策

- イエローグリーンキャンペーンなど、県と連携して告知・啓発を行いたい
- 三次喫煙についての情報提供

禁煙の支援

- 禁煙外来の増加
- 最新の禁煙治療に係る情報提供
- 禁煙外来のある医療機関の一覧が欲しい

その他・全般

- 啓発グッズの配布を継続してほしい
- 体験ができたリインパクトがあったりする、分かりやすいたばこ対策（特に受動喫煙防止）についての啓発媒体の活用例が知りたい
- 健康増進法の改正などが行われる場合、自治体として必要な取組事項について、情報共有してほしい
- 最新の研究・調査結果など、啓発に利用できる情報を提供してほしい